

リサイクルデザイン

RECYCLE DESIGN

2012
No.218

11

横浜型地域貢献企業
最上位認定取得

特集 * 歴史の道 横浜道を歩いてみよう!





横浜道を歩いてみよう!



横浜市内には鎌倉街道や旧東海道など、歴史ある街道があります。

そのなかで、最も横浜市と縁深いのが江戸時代末期に

横浜港開港のためにつくられた「横浜道」です。

今回はその横浜道と周辺の歴史スポットをご紹介します。

横浜開港のためにつくられた 横浜道を知っていますか?

横浜港は、江戸時代末期に日米修好通商条約の調印によって開港されました。突然、開港が決まった当時の横浜付近は、ひなびた漁村があるだけで、幹線道路であつた東海道から通じる道がありませんでした。そこで、東海道から港へと続く3・6kmの「横浜道」が造られたのです。

横浜の歴史に詳しいNPO法人横浜シティガイド協会の田尻暉子理事に、横浜道の歴史について話を伺いました。

「実は、横浜が開港場所選ばれた理由は、不便な場所でも人がほとんど住んでいなかったからでした。東海道の神奈川宿や保土ヶ谷宿など、日本人が大勢いる場所に近いと、問題が起るかもしれない。しかし、当時の横浜は人里離れた海岸で、砂州と小さな集落があるだけでした」と田尻さん。急遽造られた横浜道ですが、田尻さんによると、開港する3カ月前に工事を始めて、たったの2カ月で造られたのだそうです。

横浜の発展を支えた横浜道は 今も重要な幹線道路

横浜道は、西区にある現在の環状1号線の浅間下交差点付近で旧東海道から分かれ、新田間橋、平沼橋を渡り、戸部7丁目交差点、戸部4丁目交差点を過ぎて、野毛坂の交差点を左に折れて野毛3丁目の交差点、都橋へと進んで、関内駅前にあつた吉田橋まで続く道です。終点の吉田橋には、当時、吉田橋関門が設けられ、港に出入りする人を取り締まっていた。関門の内側を「関内」と呼び、現在も地名になっています。

左ページの古地図をよく見るとわかるのですが、新田間橋から敷島橋(当時の岩崎橋)までの間と、都橋から吉田橋の間は海岸沿いの道でした。現在の横浜駅やランドマークタワー付近などはすべて海だったことがわかります。

さらに、野毛坂付近は切り通しになっていて、険しい山道でした。その後、港と街が発展すると、高台で港が一望できた野毛坂付近には商売で財をなした市内の商人たちの別荘

が建ち並びました。現在も野毛坂の交差点には、明治時代の豪商・平沼専蔵邸跡の石積擁壁が残っています。また、野毛山公園は、生糸貿易で富を築いた豪商の敷地跡で、関東大震災のあとに公園になったそうです。

県立青少年センター、県立音楽堂、県立図書館が建つあたりは、当時、神奈川奉行所と役人たちの役宅がありました。古地図内には、「御裁判所」と記載があり、今も奉行所跡を示す碑が残っています。

現在の横浜道の沿道を歩いても、当時を忍ばせるものは残っていませんが、横浜の歴史をたどる史跡はたくさん見つかります。いつもは車で通りすぎてしまつ道かもしれませんが、ときには車を降りて、横浜開港当時の道筋をゆっくり歩き、史跡を訪ねてみてはいかがでしょうか。

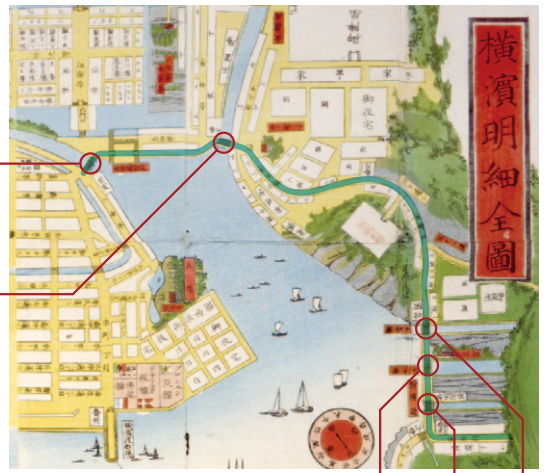
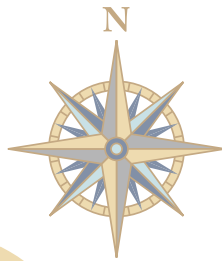
NPO法人 横浜シティガイド協会

横浜市内を中心に、横浜の歴史や新しいスポットなどを歩きながらガイドしてくれる団体です。詳しくはホームページをご確認ください。

お問い合わせ

横浜市中区山下町15
横浜マリニタワー内
TEL&FAX : 045-228-7678
(土日祝祭日を除く10時~16時)
URL : <http://www.ycga.com/>

横浜道散策マップ



横浜開港当時の古地図。当時の横浜道(青線)は海岸線の道だった。(横浜開港資料館所蔵)

敷島橋

岩崎川に架けられた橋で、当時は岩崎橋と呼ばれました。大正4年に鉄道工事のために上流(現在の岩崎橋)に移転しましたが、その後、同じ場所に敷島橋として架け直されました。今は兩岸が桜並木となっており、春には川面に桜の花が映えてとてもきれいだそうです。



平沼陸橋と踏切跡

横浜道を平沼1丁目交差点から進んでいくと、元平沼橋の手前の東海道本線と相模鉄道の線路に阻まれて、道が途切れてしまいます。かつては「開かずの踏切」がありました但廃止され、今は平沼陸橋になっています。残念ながら横浜道はここだけ歩くことができません。





横浜道おすすめ史跡スポット

横浜道の沿道には、故事来歴が伝わるたくさんの史跡が残っています。
散策に向いている関内駅側から順にいくつかをご紹介します。



都橋 MAP→②

かつては野毛橋と呼ばれました。この橋は大岡川が海に注ぐ当時の河口に架けられたもので、ここより海側にある桜木町やランドマークタワーあたりは海でした。



日本近代水道最古の水道管 MAP→③

野毛3丁目の交差点近くの公園内に、日本近代水道最古の水道管が展示されています。明治20年に日本最初の近代水道がイギリス人技師によって横浜に創設されました。水道は、現在の相模原市津久井から野毛山にあった貯水場までの44kmを結んでいました。展示された水道管は厚みがあり、触るとずしりとした重みを感じられます。



吉田橋関門跡の碑 MAP→①

関内駅北口近くに吉田橋関門跡の石碑があります。かつてはここが横浜発展を支えた交通の要所だったとは、現在の様子からは想像もできません。また、JRガード下には明治2年にイギリス人プラントンによって掛け替えられた当時の吉田橋の絵と横浜居留地の地図もあります。



野毛山住宅亀甲積擁壁 MAP→④

野毛坂交差点にある美しい石積は、明治時代の豪商・平沼専蔵邸の敷地を囲む石垣の名残です。正確に積まれた亀甲石積の精度は、市内随一だそうです。この交差点から野毛坂を臨むと、両側に高くと石垣が伸びており、かつて険しい山道を切り通した細い山道だったことが忍ばれます。

成田山横浜別院 (延命院・野毛山不動尊) MAP→⑤

明治3年に高島易断で有名な高島嘉右衛門の協力によって、千葉市にある成田山の横浜別院として建立されました。崖に沿って階段を上り、境内から下を眺めながら、開港当時は間近まで海が広がっていたと想像すると見慣れた街並みも違って見えます。





神奈川県奉行所跡 MAP→ ⑦

横浜道から戸部郵便局の交差点を紅葉坂方向に曲がると左手に県立青少年センターがあります。



ここには、開港直後の安政6年(1858年)に神奈川奉行所が設けられていました。高台なので眺めがよく、現在もランドマークタワーがよく見えます。



井伊直弼の銅像 MAP→ ⑧

かもんやま
掃部山公園には、横浜開港を決断した江戸幕府の大老、井伊直弼(掃部頭)の銅像があります。台座を入れて高さ10mの堂々とした像で、元彦根藩士が開港50周年にあたる明治42年に建立しました。とても迫力がありますが、大きすぎて下から見ても井伊直弼の顔つきがよくわからないほどです。



松島館 MAP→ ⑨

街歩きで何より楽しいのが、ちょっとした拍子に見つける自分だけの風景です。松島館は、横浜道から続く細い路地にある小さな銭湯で、レトロな雰囲気が漂っています。15時から開いているので、散策の途中に立ち寄るのも一興です。

旧東海道合流地点 MAP→ ⑫

浅間下交差点の近くに横浜道と旧東海道の合流地点があります。歩道には横浜道と旧東海道を示すプレートが埋め込まれています。



伊勢山皇大神宮 MAP→ ⑥

かつて戸部村の丘陵にあった神社を明治3年に現在の地に移し、伊勢山皇大神宮となりました。横浜シティガイド協会の田尻さんによると「移転したときのお祭りはものすごい人出があり、暑い日だったため、当時発売されたばかりのアイスクリームがよく売れた」のだそうです。

がんき 岩亀稲荷 MAP→ ⑩

戸部4丁目の交差点から雪見橋に続く岩亀横丁の通りに岩亀稲荷があります。開港当時、横浜の歓楽街が高島町にあり、三層櫓式の楼閣がある岩亀楼が有名でした。現在の岩亀横丁には、岩亀楼の遊女が静養する寮があり、その寮内にあった稲荷が岩亀稲荷です。岩亀楼の店主が埼玉県岩槻の出身で、岩槻の音読み「がんき」から「岩亀」となったそうです。小さいですが、とても雰囲気のある佇まいのお稲荷さんです。



平沼水天宮 (平沼神社) MAP→ ⑪

天保10年(1839年)に、平沼九兵衛という人が帷子川下流域を埋め立てて新田を開拓したときに、守護神として水天宮を祀ったのが始まりです。古地図によるともともとは元平沼橋の近くにあったようです。



あっとほーむな子育てしましよ！

「学校選びとお受験」

幼稚園から小・中学校、高校、大学まで、進学を控えた子どもがいるママにとっては、そろそろ本格的に準備をする時期ですね。

小学校受験はすでに終わっている方もいるかと思いますが、小・中学校の受験をした人、しなかった人たちの本音を聞いた人はあまりいないと思います。私は仕事柄、ママたちの本音を聞く機会が多く、その中で「なるほどー！」と思ったことを皆さんにもお伝えします。

例えば、現在中学生の子の場合、保育園時代に受験教室に通っていましたが、子どもには「クイズの教室」と言っていたそうです。おかげで子どもはクイズをするつもりで楽しく教室に通い、高校まで進学できる希望の小学校に合格しました。なぜ小学校で受験をしたのか聞いたところ、中学受験をする場合は小学4年から、

高校受験では中学2年から塾通いとなり、自分たちが理想とする「小学生時代は思いきり遊び、中・高校では部活に打ち込む」生活をさせてあげられないからだそうです。この子は同年代の子どもたちが塾通いで忙しい5・6年生になっても家族旅行やキャンプなどを楽しみ、中学生になった今は部活に打ち込んでいます。また、公立小学校から私立中学校を受験した子どもたちの話を聞いた時にも、塾に通う必要がない学校を選ぶことに一理あると感じました。

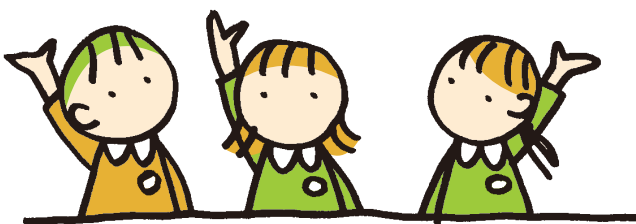
私は、受験をお勧めしているわけではありません。中学受験を考えている人でも、幼稚園受験、小学校受験は、初めから考えに入れていない人がほとんどだと思います。しかし、地元の公立も含め、みんなが行くからではなく、必ず自分の目で見て感じて、「ここなら子どもを安心して

任せられる」と思える学校を選ぶことが大切なのです。

これは、幼稚園や小・中学校だけでなく、保育園や学童保育でも同じです。長年、保育施設を運営してきた経験からも、ママが「ここなら大丈夫」と思っただけで入ってきた場合と、「お友達が入るからうちも」と入ってきた場合では、子どもの慣れ具合が全く違います。学校なら子どもが自分の能力を発揮できるまでの時間に明らかな差が出るでしょう。

新しい環境で不安を抱える子どもたちに、ママが「ここなら大丈夫」と言っただけで入るかどうかなのです。親がその学校を信頼しているならば、きっと子どもはのびのびと過ごせるに違いありません。

次号は子どものお小遣いについて、何歳からいくらあげるのがいいのか？ 実例を交えてお伝えします。



小栗ショウコ

NPO法人あっとほーむ代表理事。横浜市都筑区で学童保育所「あっとほーむ」を運営し、仕事に忙しいママたちの子育てを支援している。
www.npoathome.com





RD NEWS

横浜市資源リサイクル事業協同組合 「20年のあゆみ」

平成4年10月	組合員75社にて設立
平成6年9月	「月刊リサイクルデザイン」創刊
平成7年11月	再生紙・トイレットペーパー販売開始 第1回リサイクルデザインフォーラム 「古紙回収10万トン大作戦」
平成10年5月	牛乳パック100%紙ひも「小結くん」販売開始
平成11年2月	「月刊リサイクルデザイン」よこはま白書スタート
平成12年9月	官公需適格組合認可取得
10月	第6回リサイクルデザインフォーラム 第1回環境絵日記発表会 子ども環境会議開催
平成13年	リサイクルデザインサポーターの募集開始
平成14年9月	設立10周年記念式典 開催
10月	第8回リサイクルデザインフォーラム 「日韓合同子ども環境会議&環境絵日記発表会」開催
平成15年2月	「横浜エコ・リサイクルポート構想」発表
5月	リサイクルポート山ノ内 稼働開始
平成16年7月	事務局を横浜市神奈川区山内町13番地に移転
平成18年4月	「合言葉は「もったいない」」キャンペーンを開始
平成21年2月	中期経営計画「りくみビジョン2020」を策定
平成22年	「環境絵日記実行委員会」設立 「環境絵日記」のWEB公開をスタート
平成23年	「古紙のバイオエタノール化等研究委員会」設置 「カーボン・オフセット認証」取得 「りくみちゃん自動販売機」設置(3箇所)
平成24年9月	「創立20周年記念パーティー」開催



平成14年「日韓合同子ども環境会議」の様子

理事長挨拶では、20年の歩みの中でお世話になった皆様への感謝の気持ちと今後への抱負が伝えられました。その後、ご来賓の皆様を代表して神奈川県中小企業団体中央会の稲葉様より温かいご祝辞を賜りました。

組合創立30周年、40周年に向けて、これからも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

10月で創立20周年を迎えた横浜市資源リサイクル事業協同組合が、9月7日(金)に横浜ロイヤルパークホテルにおいて記念パーティーを開きました。

記念パーティーには来賓、組合員、顧問、職員含め96名が出席。冒頭に「写真で振り返る20年の歩み」と題した5分のスライドショーを上映し、組合員の20年の労をねぎらうとともに20周年の組合活動を振り返りました。組合員はスライド内のメッセージの熱い言葉に胸が熱くなり、目頭を押さえる場面もありました。

横浜市資源リサイクル事業協同組合の 「創立20周年記念パーティー」を開催



20周年パーティーの様子

●次号予告

12月号は
リメイクファッションの特集だよ!



月刊リサイクルデザイン

2012年11月号 通巻218号 2012年10月25日発行

発行所: 横浜市資源リサイクル事業協同組合
〒221-0054 横浜市神奈川区山内町13番地
TEL: 045(444)2531 / FAX: 045(444)2532
http://www.recycledesign.or.jp

発行人: 高田哲二 編集人: 藤本達也 印刷: 大日本印刷株式会社
発行部数: 93,800部

本誌は古紙70%の再生紙と環境にやさしいNonVOCインキ、油性インキ「SOYA-eシリーズ」を使用しています。

VOC
FREE

大人気! りくみのティッシュ

牛乳パック再生紙100%のボックスティッシュ。一般的なティッシュは1箱150組ですが、200組でボリュームもたっぷり。

1箱200組400枚入り・5箱1パック

ご注文は

1ケース(10パック) 3,600円 から

●お問い合わせ・ご注文

横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務局 山中

TEL: 045-444-2531 E-mail: mail@recycledesign.or.jp



リサイクル事業を通じて
子どもたちの笑顔と夢、希望が
あふれる街をつくりたい



Recycle Designer Profile

KIYOTAKA KURIHARA 8

有限会社マルニ商店業務部長。破碎されたガラス（カレット）を扱う横浜で唯一の事業者の三代目。生粋の浜っ子で、出前講師などの組合活動を通じて子どもたちの人気も高い。

横浜市資源リサイクル事業協同組合 副理事長